

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 1A
 開始時間: 13:30~

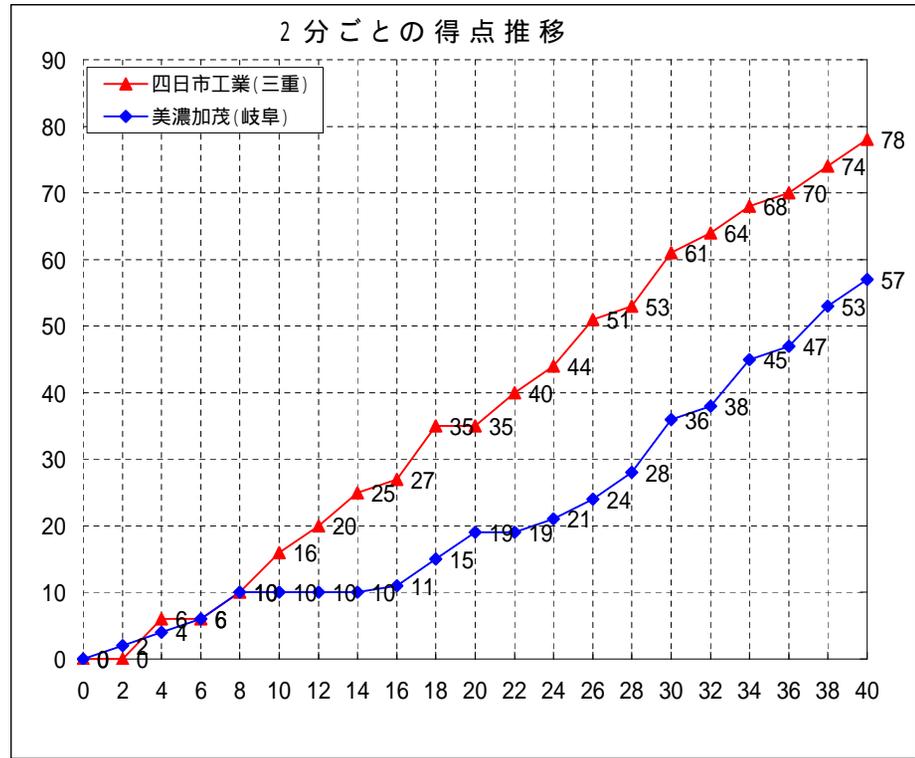
Team A		Team B
四日市工業 (三重)	78	57 美濃加茂 (岐阜)
	16 - 10	
	18 - 9	
	25 - 14	
	19 - 24	
	-	

Team A: 四日市工業(三重)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 杉山卓也	12	0	6	0	1								
5	* 二井亮太郎	12	1	4	1	1								
6	* 森島聡	6	1	1	1	3								
7	* 永見隆典	2	0	1	0	1								
8	児玉晴太	2	0	1	0	2								
9	* 河合浩輝	4	0	2	0	3								
10	安藤勇人	24	2	8	2	1								
11	園田大祐	7	0	3	1	3								
12	西條幸雄	0	0	0	0	0								
13	水谷尚登	0	0	0	0	1								
14	小川健太朗	5	1	1	0	0								
15	森智也	4	0	2	0	2								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		78	5	29	5	18	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 美濃加茂(岐阜)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	水野伸弥	4	0	2	0	3								
5	* 桂川陽治	3	1	0	0	4								
6	* 伊藤友哉	10	0	5	0	1								
7	* 楯昌宗	2	0	1	0	1								
8	* 福井貴士	2	0	0	2	1								
9	大地健介	4	0	2	0	0								
10	谷口祐嗣	0	0	0	0	0								
11	鈴木悠介	0	0	0	0	0								
12	田中達也	4	0	2	0	1								
13	* 熊澤恭平	19	2	3	7	0								
14	安藤聖也	4	1	0	1	0								
15	馬場亮輔	5	0	1	3	1								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		57	4	16	13	12	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

四日市工業 美濃加茂 四日市工業はオールコートのマンツーマンディフェンス、美濃加茂はハーフコートのマンツーマンディフェンスで試合がスタートするが、両チームともに動きが固くミスが多い。四日市工業はセンターを下げると動きの良くなり、の連続得点などで第1Q 16 - 10と四日市工業リード。第2Q 四日市工業のディフェンスに対し、美濃加茂はボール運びに苦しみだし、リズムが崩れミスを得点にされるなどして前半を 34 - 19 と四日市工業リードで折り返す。後半、第3Q 美濃加茂 の3Pなどで点差を縮めようとするが、要所は四日市工業が抑え、第3Qを終え、59 - 33 四日市工業リード。第4Qに入り、美濃加茂は連続得点をあげ、頑張るも得点差が大きく、78 - 57 で四日市工業勝利となる。

主審	守谷 圭介	副審	中川 行臣	記入者	寺崎
----	-------	----	-------	-----	----

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子1回戦
 試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 1A
 開始時間: 13:30~

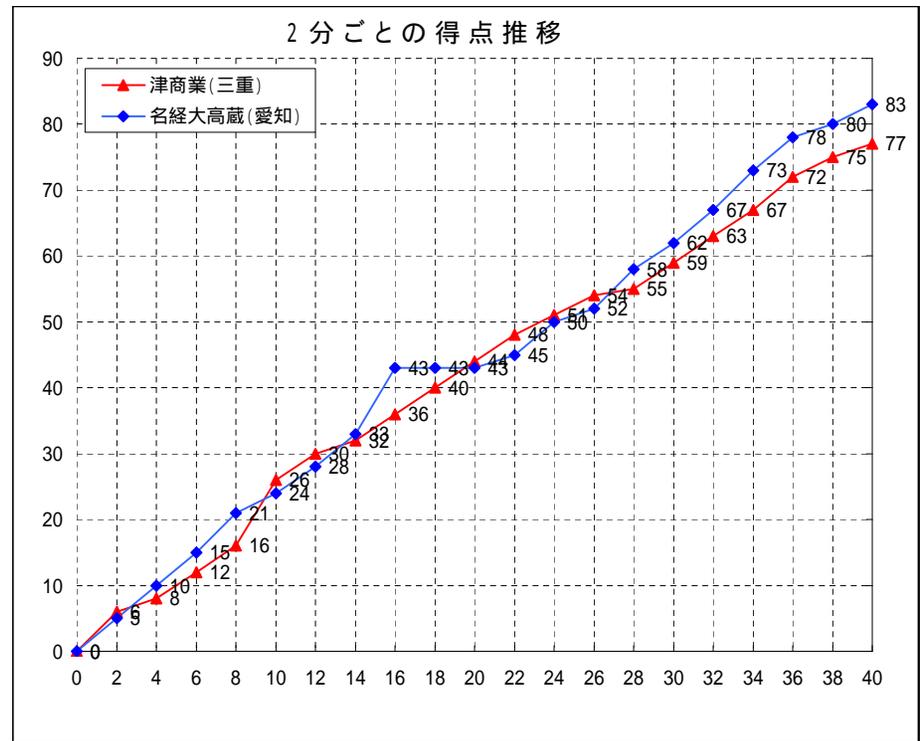
Team A		Team B
津商業 (三重)	77	83 名経大高蔵 (愛知)
	26 - 24	
	18 - 19	
	15 - 19	
	18 - 21	
	-	

Team A: 津商業 (三重)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	村瀬有美	2	0	2	0	0								
5	伊藤沙弥香													
6*	岡本愛里	12	0	12	0	1								
7*	三鬼知子	12	0	12	0	2								
8	小林由佳	0												
9*	大矢真由	26	6	16	4	3								
10*	杉本由佳	0	0	0	0	0								
11*	中川亜美	3	3	0	0	3								
12	出口はるか													
13	谷口阿沙	2	0	2	0	1								
14	水野里紗	4	0	4	0	2								
15	藤口由加里	16	0	16	0	1								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		77	9	64	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 名経大高蔵 (愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	平塚郁美													
5*	伊藤麻弥	19	4	3	1	1								
6*	岡田麻央	30	4	9	0	0								
7*	杉浦文香	12	1	2	5	0								
8*	杉浦恵美	19	0	8	3	3								
9*	櫻井あゆ美	2	0	1	0	4								
10	竹本早織	0	0	0	0	0								
11	寺崎早央里	0	0	0	0	0								
12	市村侑貴													
13	山内ナツキ													
14	中澤好映													
15	村松あかり	1	0		1	0								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		83	9	23	10	8	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

津商、高蔵でスタート。津商が先制。速攻を中心に得点を重ねる。高蔵はアウトサイドのシュートが確率良く決まる。2Q、津商は高蔵のディフェンスの裏をつくパスを配給し、ゴール下のシュートにつなげる。津商はメンバーチェンジを繰り返し、新しく入った選手が積極的にリングに向かう。高蔵はファールが多い。前半終わって44-43津商1点リードで折り返す。3Q一進一退の攻防が続くが、津商はここまでゲームを作ってきたが3ファールでベンチへ。オフェンスにミスが続く、高蔵が走り出す。4点高蔵リードで4Qへ。高蔵はのドライブインが次々に決まり、そこに寄せれば外から3Pとリードを広げる。津商も最後まで粘り、の連続3Pで3点差まで追いつけるが、後一歩及ばず、83-77で高蔵が勝利した。

主審 小塩達夫

副審 大江裕之

記入者 矢島ちよ子

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 1C
 開始時間: 13:30 ~

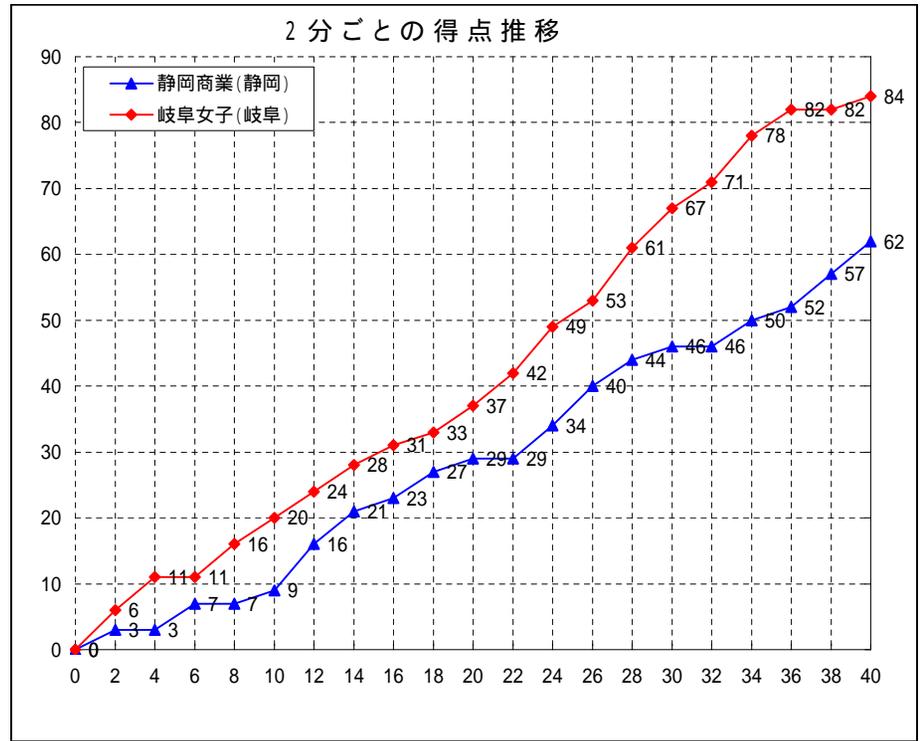
Team A		Team B
静岡商業 (静岡)	62	84 岐阜女子 (岐阜)
	9 - 20	
	20 - 17	
	17 - 30	
	16 - 17	

Team A: 静岡商業 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 山本 優	18	6	6	6	4								
5	* 渥美 菜由	9	0	6	3	1								
6	* 本間 香葉子	13	0	6	7	2								
7	白鳥 恵	4	0	4	0	3								
8	* 鈴木 萌水	1	0	0	1	2								
9	* 菊地 有	13	0	12	1	3								
10	吉田 あすか													
11	村松 泉	4	0	2	2	1								
12	外村 悠貴	0	0	0	0	0								
13	久保田 真梨子													
14	山梨 瑞穂													
15	青木 紀江													
16														
17														
18														
Team/Coach: 立野幹夫							16							
合計		62	6	36	20	16	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 岐阜女子 (岐阜)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 服部 里奈	19	3	5	0	3								
5	吉田 育恵	2	0	0	1	1								
6	大蔵 さゆり	1	0	1	1	1								
7	* 王 岑 静	17	0	3	4	4								
8	* 富崎 里奈	14	0	0	3	3								
9	* 安井 未帆	8	0	2	3	3								
10	* 小野 奈津美	11	1	0	3	3								
11	田中 優理	12	0	4	0	0								
12	知屋 城未央	0	0	0	1	1								
13	立花 咲	0	0	0	1	1								
14	伊藤 恭子	0	0	0	4	4								
15	水谷 佳代	0	0	0	2	2								
16														
17														
18														
Team/Coach: 安江満夫							26	0	0	0	0	0	0	0
合計		84	4	15	23	26	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

静岡商業、岐阜女子でスタート。1Q両チームハーフコートマンツーマンで始まる。立ち上がり両チームとも固さが見られたが、岐阜女子のドライブのポストプレイから徐々に得点を重ね、残り6分で3-11としたまま静岡商業はタイムアウトを取る。タイムアウト後、岐阜女子に対してヘルプディフェンスまた、オールコートプレス仕掛けるが岐阜女子の激しいディフェンスに対しミスが続きリズムに乗れない。

2Qバックドア、パスラン、ドライブからリズムを掴みだした静岡商業だが1Q同様、パスミス、シュートミスが続く、残り5分岐阜女子のタイムアウト後静岡商業はプレス、ヘルプディフェンスから岐阜女子のミスを誘い一気に点差を縮める。

3Q静岡商業をに代え後半スタート岐阜女子オールコートプレス、静岡商業オールコートプレスから1-1-3ゾーンで勝負をかける。残り6分岐阜女子がファウル4回でベンチに下がるが岐阜女子の流れは止まらない。

4Q3Q同様勢いは止まらず、岐阜女子の激しいディフェンスから速攻が決まる。一方、静岡商業もバス回しからドライブで果敢に攻めるが、外角のシュートが決まらず走り勝ちした岐阜女子が勝利を収めた。

主審 井上 友幸 副審 大森 智之 記入者 加藤 友理

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 2A
 開始時間: 15:10~

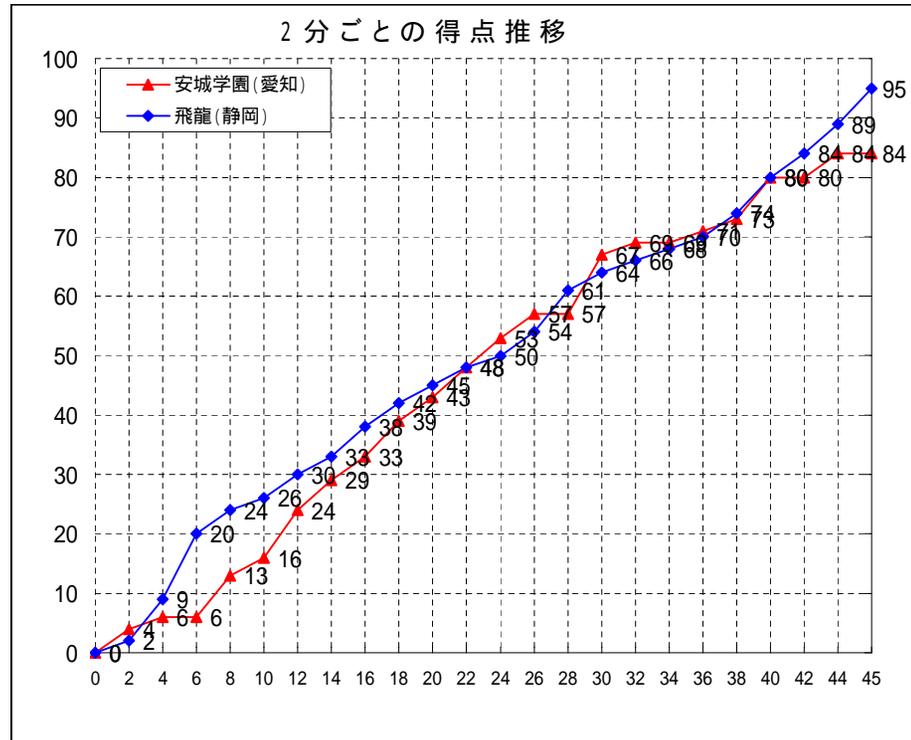
Team A		Team B
安城学園 (愛知)	84	95 飛龍 (静岡)
	16 - 26	
	27 - 19	
	24 - 19	
	13 - 16	
	4 - 15	

Team A: 安城学園 (愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 宇佐美勝也	32	1	13	3	3								
5	* 八木勇樹	11	1	2	4	4								
6	* 稲葉努	2	0	1	0	0								
7	* 志賀章臣	0	0	0	0	0								
8	村上勝軌													
9	鈴木統伊													
10	国本一哉	17	3	3	2	2								
11	* 山崎隼	12	0	3	6	3								
12	近藤健太	8	2	1	0	4								
13	佐藤諒													
14	北村透													
15	加納誠也	2	0	0	2	3								
16														
17														
18														
Team/Coach:金子 寛治														
合計		84	7	23	17	19	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 飛龍 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 種市幸祐	36	5	8	5	3								
5	* 大石慎之介	20	0	10	0	3								
6	青木竜	2	0	0	2	0								
7	山口康裕													
8	佐藤建人													
9	杉本瞬													
10	* 李 鑫	16	0	8	0	4								
11	千田勇人	8	2	1	0	2								
12	上杉尚輝	2	0	0	2	1								
13	* 金田大輝	2	0	1	0	5								
14	* 杉山直也	9	1	2	2	3								
15	坂本健													
16														
17														
18														
Team/Coach:杉村 敏英														
合計		95	8	30	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0



【戦評】

安城学園、飛龍でスタート。安城はオールコートゾーンプレスや1-3-1ゾーンで相手にリズムを作らせない。一方飛龍はハーフコートマンツーマンで激しいプレッシャーをかけ、相手のシュートミスからリバウンドを取り速攻で得点を重ね、残り4分で6-16とリードし安城はT.O.その後安城の3Pシュートで対抗するが、16-26と飛龍がリードして終わる。

2Q、安城がリバウンドやルーズボールを支配しリズムを作る。飛龍も安城のゾーンをつまく攻めるが、連続シュートを決める安城が33-35と追いつき、飛龍がT.Oをとる。その後互いに譲らず前半は43-45と飛龍リードで折り返す。

3Q、両チームとも一進一退の攻防が続くが、終了直前安城の3Pが決まり67-64と安城リードで終了。

4Qも両チームとも互いに譲らず、拮抗したまま時間が過ぎていく。残り1分を切り安城がゴール下のシュートを決め、80-77と逃げ切ったかに思えたが飛龍の3Pが残り11秒に決まり、延長戦に突入。

延長は、安城のゾーンを飛龍が攻略。速攻も決まって、結局84-95で飛龍が延長戦を制した。

主審	山本 登	副審	小牧 秀則	記入者	伊室 由美子
----	------	----	-------	-----	--------

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 2B
 開始時間: 15:10 ~

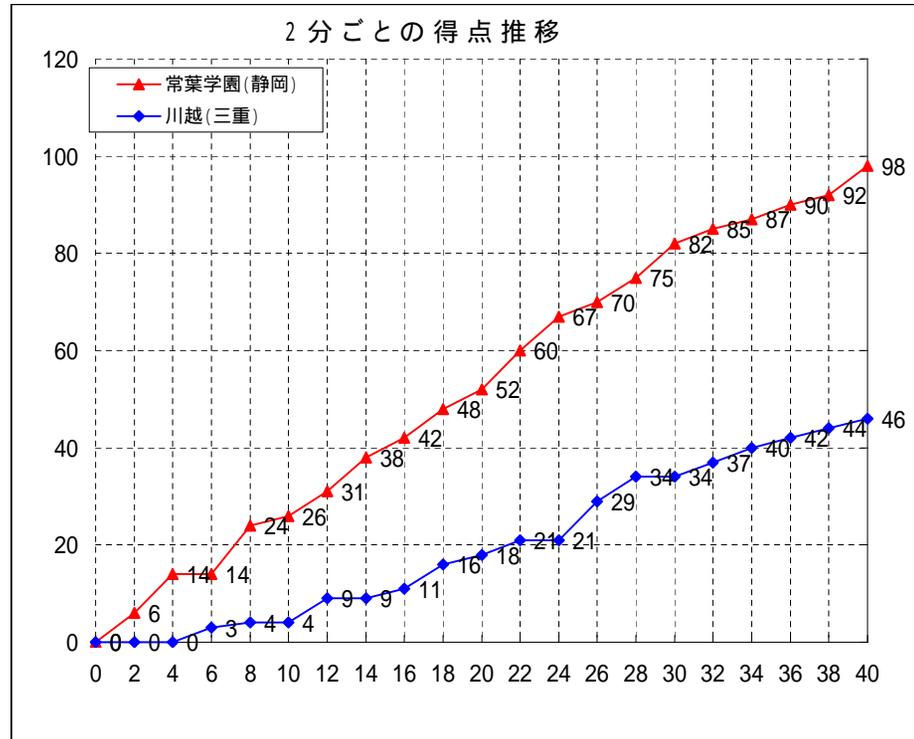
Team A		Team B
常葉学園 (静岡)	98	46 川越 (三重)
	26 - 4	
	26 - 14	
	30 - 16	
	16 - 12	
	-	

Team A: 常葉学園 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4 *	杉山保奈美	8	0	3	2	1								
5 *	楠京子	25	0	11	3	3								
6 *	田中真樹	17	1	5	4	0								
7 *	王リリ	6	0	2	2	4								
8 *	川崎若奈	15	3	2	2	2								
9	大内知世	15	1	4	4	1								
10	土屋仁美	0	0	0	0	1								
11	赤池由吏	3	0	1	1	1								
12	山口美穂子	7	0	3	1	1								
13	杉村佳奈子	0	0	0	0	0								
14	野澤千鶴	0	0	0	0	0								
15	小池ひかる	2	0	1	0	1								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		98	5	32	19	15	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 川越 (三重)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4 *	伊藤江李奈	15	3	3	0	3								
5	滝川裕梨	0	0	0	0	0								
6	上地未記	0												
7 *	平田和沙	2	0	0	2	4								
8	鈴木友子	13	3	2	0	1								
9	岩永由美	0												
10	鈴木真衣	0	0	0	0	0								
11	伊藤亮子	4	0	2	0	0								
12 *	田畑裕子	9	2	1	1	4								
13 *	中條夏海	0	0	0	0	2								
14 *	伊藤晴香	0	0	0	0	4								
15	藤原綾佳	3	0	1	1	2								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		46	8	9	4	20	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

常葉、川越。常葉のハーフコートマンツースに完全に圧倒され、川越は序盤から本来のリズムでオフェンスが出来ない。6分交代でなんとか活路を見出したい川越はようやく得点するも後が続かない。常葉はパスカットやリバウンドからの速攻で加点していく。2Qに入っても、川越はミスが多く、なかなか反撃の糸口がつかめない。後半、川越は3-2ゾーンで常葉のポストプレイと力強いドライブを抑えようとする。また、常葉の厳しいディフェンスにドライブを抑えこまれるため、早めの外角シュートで応戦する。川越のゾーンは常葉の攻撃に影響を与えるも、結局常葉の持ち味である速攻は止まらず、常葉の勝利。明日の桜花学園戦に挑む。

主審 松野瑞穂 副審 高木若子 記入者 栗本圭子

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 2C
 開始時間: 15:10~

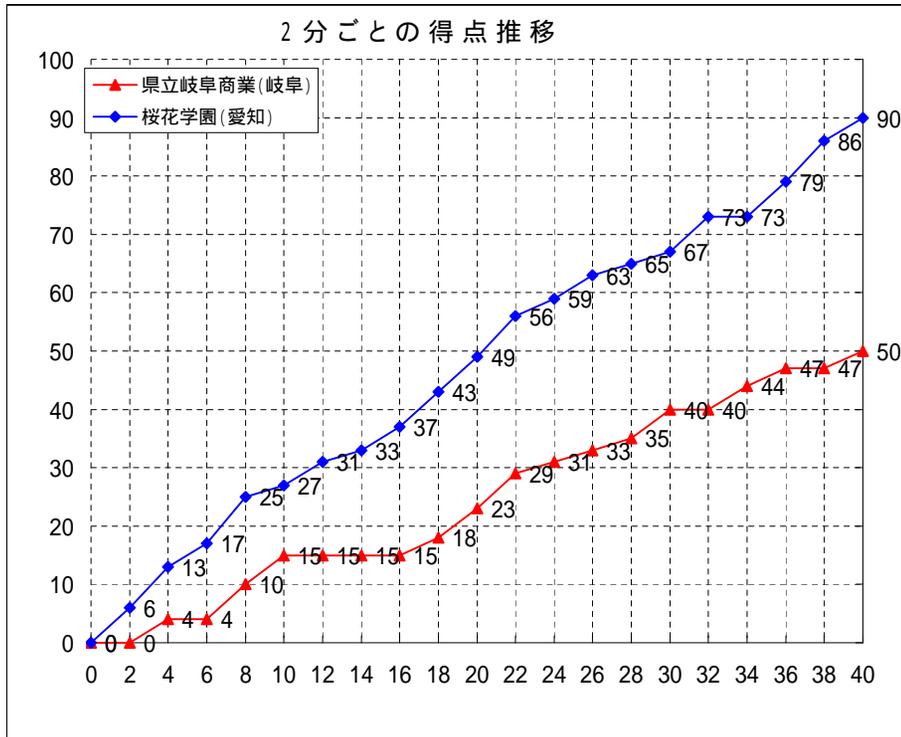
Team A		Team B
県立岐阜商業 (岐阜)	50	90 桜花学園 (愛知)
	15 - 27	
	8 - 22	
	17 - 18	
	10 - 23	
	-	

Team A: 県立岐阜商業(岐阜)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 柴田ひとみ	14	2	4	0	2								
5	* 高橋美沙紀	7	1	2	0	2								
6	松永真由子	0	0	0	0	2								
7	林真末	5	1	1	0	0								
8	小林千賀子	0	0	0	0	0								
9	高野香里													
10	* 長瀬紗代	4	0	2	0	4								
11	* 小野島歩美	5	1	1	0	1								
12	* 小倉梓	13	1	4	2	2								
13	佐野友香	0	0	0	0	0								
14	山北公美													
15	高橋由衣奈	2	0	1	0	1								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		50	6	15	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 桜花学園(愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	松島有梨江	8	2	1	0	0								
5	寺廻唯	4	0	2	0	1								
6	* 安井彩	4	0	2	0	1								
7	* 織田智恵里	12	0	6	0	1								
8	中川聴乃	0	0	0	0	1								
9	牛田悠理	5	1	1	0	1								
10	* 増野彩香	19	0	8	3	1								
11	後藤彩	10	0	4	2	1								
12	佐藤詩織	6	0	3	0	2								
13	* 和田静香	10	0	3	4	1								
14	堀川夏海	4	0	2	0	1								
15	* 服部直子	8	0	4	0	3								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		90	3	36	9	14	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

県岐阜商、桜花学園。両者ハーフコートマンツースタート。桜花学園 織田がドライブで先取点、その後もメンバー全員が次々と速さと高さを活かし加点。一方、県岐阜商は 高橋(美)がドライブで得点した後は高さに阻まれながら点が加わらない。メンバーチェンジを行いながらディフェンスを頑張り、柴田のジャンプシュート 長瀬 高橋の3Pで何とか点をつなぎ、27-15で1Q終了。2Q: 桜花学園が着実に点を重ねるに対し、県岐阜商は外角シュートを放つもリングに嫌われ、長い間得点なし。終盤 を下げ、ディフェンスをオールコート2-2-1に変える。それが少しリズムになったか加点に成功。しかし、点差は開く一方。後半、桜花学園は 松島 中川をコートイン。3Pで加点するもビッグマンの足が止まり出し、ディフェンス鈍る。県岐阜商はそこを突きドライブで攻める。桜花学園のミスと県岐阜商の粘りで点差をキープするが、最後はつき離され、桜花学園の圧勝。

主審

関博樹

副審

岡留優介

記入者

伊佐山清実

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 3A
 開始時間: 16:50~

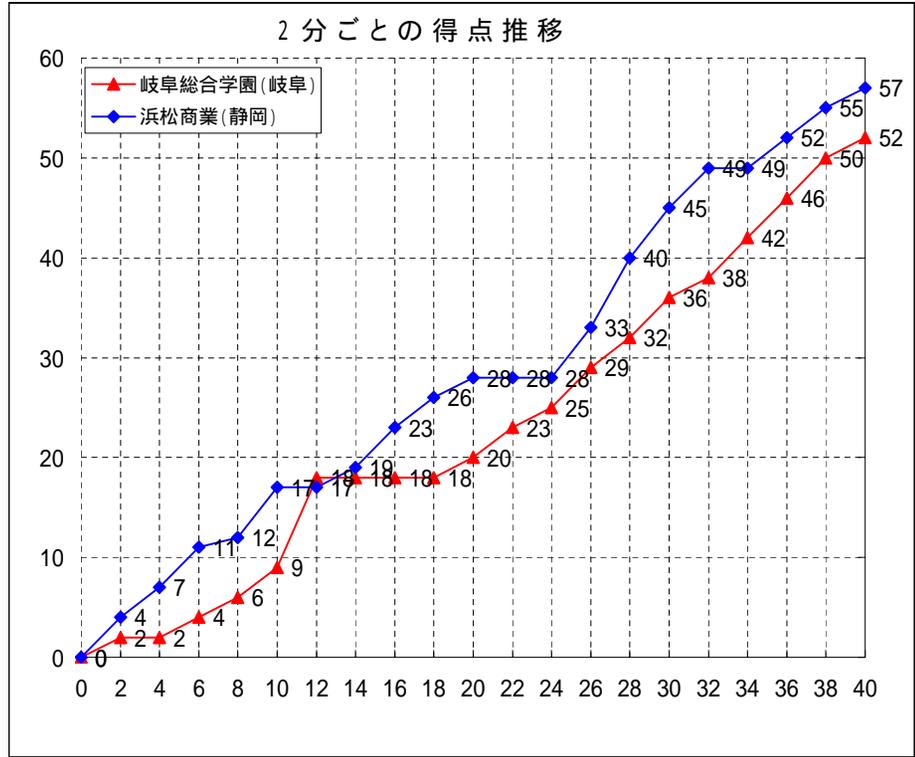
Team A		Team B
岐阜総合学園 (岐阜)	52	57 浜松商業 (静岡)
	9 - 17	
	11 - 11	
	16 - 18	
	16 - 11	
	-	

Team A: 岐阜総合学園 (岐阜)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 坂下和也	5	0	2	1	1								
5	* 新川貴幸	7	1	2	0	4								
6	* 桑原佑弥	10	0	5	0	3								
7	* 赤座誠哉	18	4	1	4	1								
8	大山高弘	4	0	2	0	1								
9	高田昌彦													
10	棚橋一希	0	0	0	0	0								
11	* 杉本慎太郎	8	0	4	0	4								
12	吉原立智	0	0	0	0	1								
13	小林由寛													
14	今井竜之													
15	原和成													
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		52	5	16	5	15	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 浜松商業 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 山口敬也	5	1	1	0	3								
5	* 水口彰	10	0	5	0	3								
6	* 小久江利恭	13	1	4	2	1								
7	* 小野田大祐	1	0	0	1	2								
8	坂下祥久	21	7	0	0	0								
9	高田一哉	4	0	2	0	1								
10	* 松本和也	1	0	0	1	0								
11	八木田健吾	2	0	1	0	1								
12	西山雅貴													
13	加藤愛二郎													
14	三井淳介													
15	榊原宏祐													
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		57	9	13	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

浜松商業、岐阜総合でスタート。1Q浜商は激しいディフェンスで岐阜総合に攻撃をさせず、のゴール下や速いオフェンスでリズムよく攻める。対する岐阜総合はゾーンプレスとゾーンで頑張り、の3Pなどで得点を重ねるが、9 - 17と浜商リードで終了。

2Q岐阜総合はゾーンプレスからパスカットで得点につなげ、18 - 18と同店に追いつくが、浜商ものゴール下やの3Pで反撃、前半は20 - 28と浜商がリード。

3Q、岐阜総合の変化に富んだディフェンスからの連続ポイントで点差を縮めるが、浜商もの3Pで突き放し、36 - 46とリードをひろげにかかる。

4Q岐阜総合の激しいディフェンスでパスカットからの3Pで点差を縮めるが浜商もがポイントを上げ、そのままタイムアップ。両チームのディフェンスが光る好ゲームであった。

主審 桜井 則之 副審 本多 芳隆 記入者 吉田 久幸

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 3B
 開始時間: 16:50~

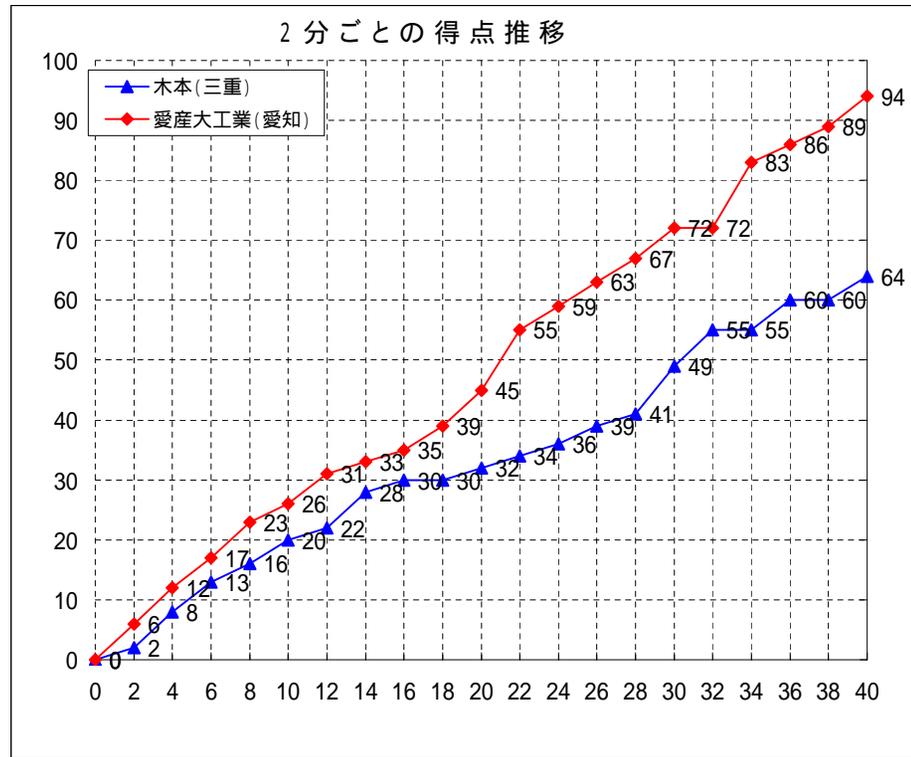
Team A		Team B
木本 (三重)	64	94 愛産大工業 (愛知)
	20 - 26	
	12 - 19	
	17 - 27	
	15 - 22	
	-	

Team A: 木本(三重)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 牧野 愛基	7	1	2	0	2								
5	角谷 亮太	0												
6	* 阪本 真樹人	4	0	1	2	3								
7	* 岡本 展佳	12	0	6	0	5								
8	更屋 拓志	0	0	0	0	1								
9	濱口 幸亮	2	0	0	2	0								
10	宇井 誠	5	0	2	1	2								
11	* 大江 誠	6	0	2	2	1								
12	* 奥田 将紀	0	0	0	0	2								
13	濱口 誉士朗	0												
14	川角 亜久里	25	4	5	3	3								
15	芝野 博考	3	0	1	1	2								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		64	5	19	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 愛産大工業(愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 松下 優介	2	0	1	0	3								
5	* 嶋田 基志	16	0	5	6	2								
6	* 三田村 裕太	12	3	1	1	2								
7	* 伊藤 親人	11	3	1	0	3								
8	* 飯沼 洋一郎	16	0	8	0	2								
9	宮本 一彦	10	0	4	2	0								
10	奥村 祥太	0	0	0	0	3								
11	伊藤 聖也	15	1	5	2	0								
12	藤田 広樹	0	0	0	0	1								
13	清水 優	8	2	1	0	1								
14	田中 大輝	2	0	1	0	0								
15	石野 雄一郎	2	0	1	0	0								
16														
17														
18														
Team/Coach:														
合計		94	9	28	11	17	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

1Q木本 愛産大工高。愛産がミスマッチをついてセンターにボールを集め、ハイロープレー、リバウンドシュートとインサイドで得点を重ねる。一方、木本はオールコートマンツーマンプレスで激しくかけ、速い展開にもっていかうとするが、木本のファウルがかさむ。1Q残り2分でタイムアウト、14-21。その後も得点がつまらず、1Q 20-26で愛産6点リードで1Q終了。2Q木本 愛産 両チームともディフェンスは変わらず、木本はインサイドアウトの攻撃で連続3Pシュートを決め、5分には30-33と追い詰める。32-45で愛産13点リードのまま前半終了。3Q木本ディフェンスがセンターに寄り出すとアウトサイドが空きシュートを打たれる。3分には59-36と愛産が一気に点差を広げる。そのまま愛産のリズムで72-49、3Q終了。4Q木本 愛産 木本はオールコートマンツーマンでしかけにいきりを見せるが、愛産の1対1、速いパスさばきでシュートを打たれる。最後まで木本は粘り強かったが、結局、愛産がそのままリズムを崩さず、勝利に結びついた試合だった。94-64で愛産の勝利。

主審	増井泰督	副審	棚橋英一	記入者	田中ナナコ
----	------	----	------	-----	-------

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子準決勝

試合日: 2005年6月19日(日)
会場: 四日市中央緑地体育館
コート: 1A
開始時間: 9:30~

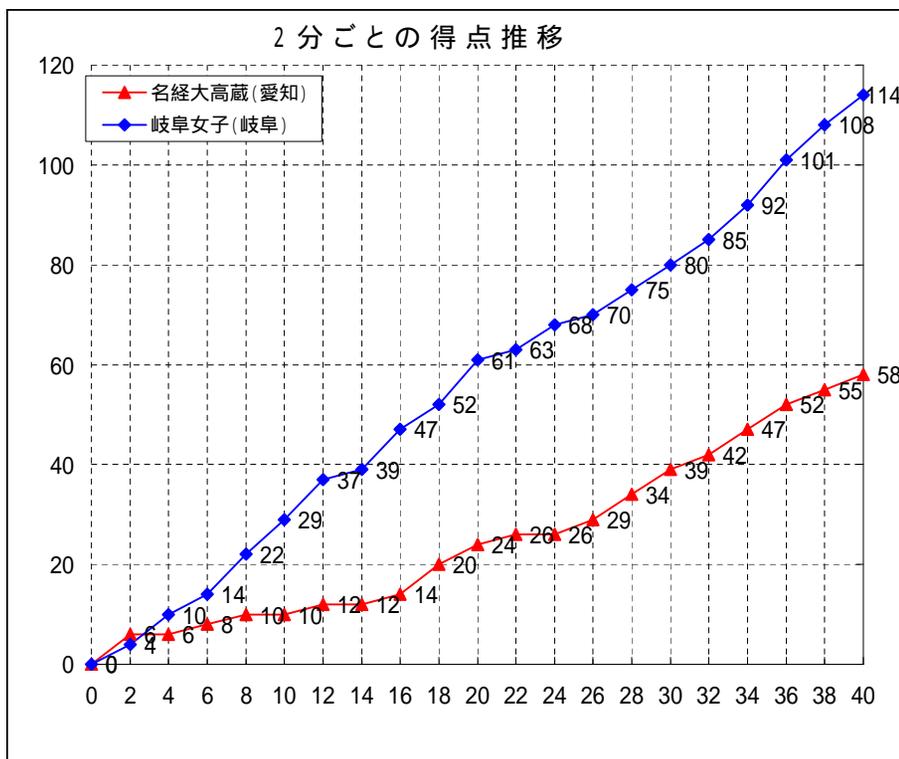
Team A		Team B
名経大高蔵 (愛知)	58	114 岐阜女子 (岐阜)
	10 - 29	
	14 - 32	
	15 - 19	
	19 - 34	
	-	

Team A: 名経大高蔵 (愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	平塚 郁美	3	0	1	1	1								
5	* 伊藤 麻弥	3	1	0	0	1								
6	* 岡田 麻央	12	1	3	3	3								
7	* 杉浦 文香	18	2	4	4	4								
8	* 杉浦 恵美	6	0	3	0	2								
9	* 櫻井 あゆ美	0	0	0	0	4								
10	竹本 早織	2	0	1	0	0								
11	寺崎 早央里	2	0	1	0	4								
12	市村 侑貴	0	0	0	0	0								
13	山内 ナツキ													
14	中澤 好映													
15	村松 あかり	12	2	3	0	0								
16														
17														
18														
Team/Coach: 重田恒文														
合計		58	6	16	8	19	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 岐阜女子 (岐阜)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 服部 里奈	19	3	4	2	0								
5	吉田 育恵	12	1	3	3	3								
6	大蔵 さゆり	2	0	1	0	1								
7	* 王 岑 静	11	0	4	3	1								
8	* 富崎 里奈	9	0	4	1	0								
9	* 安井 未帆	20	3	4	3	1								
10	* 小野 奈津美	9	1	3	0	1								
11	田中 優理	19	0	8	3	0								
12	知屋城 未央	4	0	2	0	0								
13	立花 咲	7	1	2	0	2								
14	伊藤 恭子	2	0	1	0	1								
15	水谷 佳代	0	0	0	0	1								
16														
17														
18														
Team/Coach: 安江満夫														
合計		114	9	36	15	11	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

高蔵 岐阜女子。高蔵はオールコートマンツーマンプレス岐阜女子ハーフマンツーマンで始まる。高蔵はオールコートで激しくプレスをかけるが、ファウルがかさみ、開始3分でチームファウル5つとなる。岐阜女子は出だしインサイドへボールを集め、外のディフェンスが寄り始めるとアウトサイドが空き、シュートを決める。思わず、高蔵は7分でディフェンスを2-3ゾーンに変えるが、岐阜女子のオフェンスは止まらない。1Q 10-29で終了。2Q 岐阜女子は1Qと変わらずハーフマンツーマン、高蔵はマンツーマン戻すが、リズムは岐阜女子にある。高蔵は岐阜女子のディフェンスを攻め切れず、ターンオーバーが多くなる。岐阜女子は連続して速攻が決まり、6分には、14-47と大量リードとなり、そこで高蔵タイムアウトをとる。しかし、流れは変わらず、24-58で前半を終了。3Q 両チームともディフェンスは変えず始まる。リズムも前半同様岐阜女子ペースのままゲームが展開され、3Q 39-80で終了。4Q 高蔵 岐阜女子。高蔵は最後まであきらめず、激しくプレスを仕掛けるが、岐阜女子は落ち着いて対応し58-114と高蔵を寄せつせず、岐阜女子の大勝となる。

主審	大森智之	副審	中川行臣	記入者	田中ナナコ
----	------	----	------	-----	-------

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子準決勝

試合日: 2005年6月19日(日)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コー ト: 1B
 開始時間: 9:30~

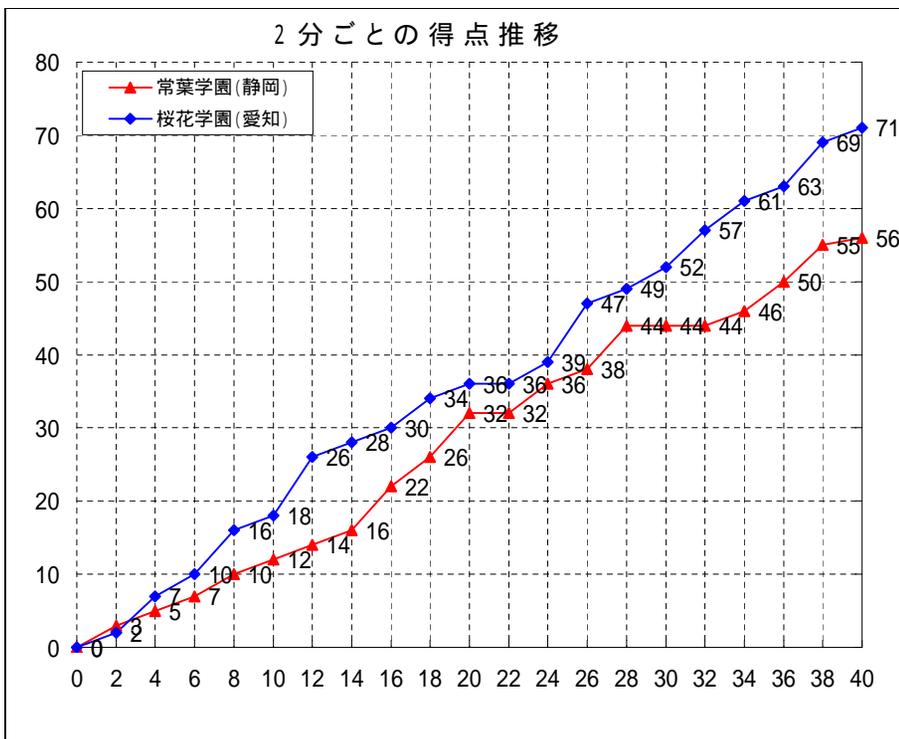
Team A		Team B
常葉学園 (静岡)	56	71 桜花学園 (愛知)
	12 - 18	
	20 - 18	
	12 - 16	
	12 - 19	
	-	

Team A: 常葉学園 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 杉山保奈美	2	0	1	0	4								
5	* 楠京子	4	0	2	0	1								
6	* 田中真樹	16	2	4	2	2								
7	* 王リリ	8	0	3	2	2								
8	* 川崎若奈	9	0	3	3	3								
9	大内知世	17	3	3	2	0								
10	土屋仁美													
11	赤池由吏													
12	山口美穂子													
13	杉村佳奈子													
14	野澤千鶴													
15	小池ひかる													
16														
17														
18														
Team/Coach: 小前 宏史														
合計		56	5	16	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 桜花学園 (愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	松島有梨江	10	2	2	0	0								
5	寺廻唯													
6	* 安井彩	2	0	1	0	1								
7	* 織田智恵里	4	0	2	0	4								
8	* 中川聴乃	21	0	10	1	5								
9	牛田悠理													
10	* 増野彩香	20	0	8	4	1								
11	後藤彩													
12	佐藤詩織													
13	和田静香	2	0	1	0	0								
14	堀川夏海													
15	* 服部直子	12	0	6	0	4								
16														
17														
18														
Team/Coach: 井上 真一														
合計		71	2	30	5	15	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

常葉マンツーマン、桜花2-3ゾーンでスタート。桜花は高さを生かしのリバウンドシュートやポストプレーで得点を重ねるが、常葉も外角のシュートが決まり、1Qは12-18と桜花リードで終わる。

2Qに入ると桜花の1対1で得点し、5分過ぎには10点差をつける。常葉ものシュートやオールコートマンツーマンで桜花のミスを誘いの3Pで追い上げ、32-36と桜花リードで前半を終了。

3Q、桜花のシュートが決まらず3分間ノーゴールで点差は1点に。桜花はタイムアウト後、同点にされるものの連続ポイントで一気に10点差をつける。その後は一進一退の攻防となり、44-52で3Qを終了。

4Qに入り桜花がの1対1で連続ポイントを上げるのに対し、常葉はシュートが決まらず点差が広がる。結局56-71で桜花学園が常葉学園に勝利した。

主審 桜井 則之

副審 小牧 秀則

記入者 吉川 太郎

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子準決勝

試合日: 2005年6月19日(日)
会場: 四日市中央緑地体育館
コート: 2A
開始時間: 11:10~

Team A		Team B
四日市工業 (三重)	75	飛龍 (静岡) 96
	22 - 23	
	17 - 22	
	21 - 19	
	15 - 32	
	-	

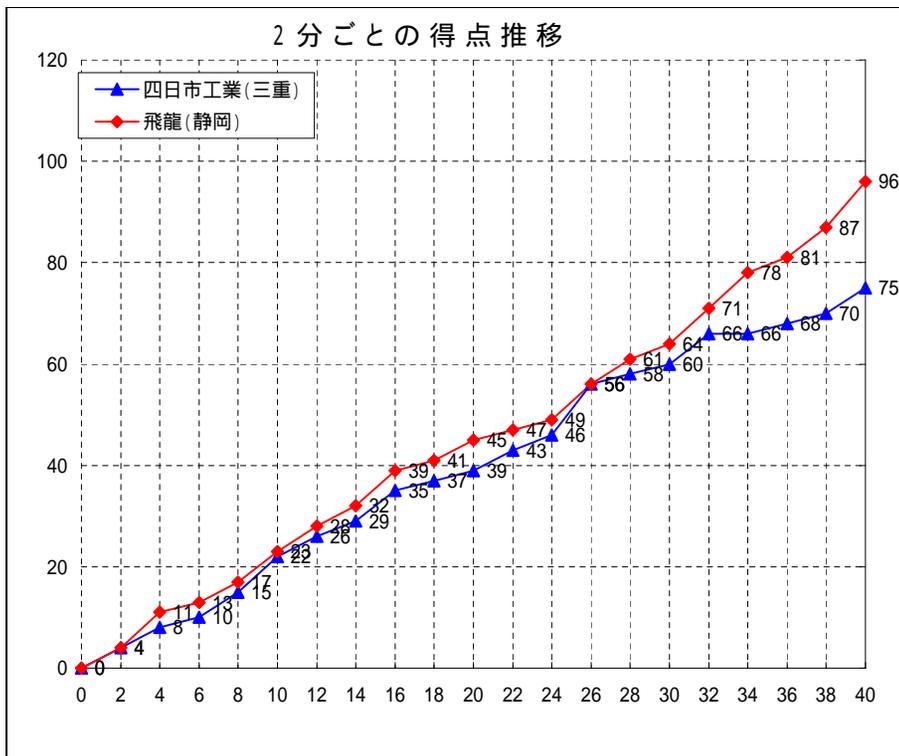
Team A: 四日市工業 (三重)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4 *	杉山 卓也	8	0	4	0	3								
5 *	二井 亮太郎	23	2	7	3	1								
6 *	森 島 聡	20	4	4	0	3								
7 *	永見 隆典	4	0	2	0	4								
8	児玉 晴太	0	0	0	0	1								
9 *	河合 浩輝	2	0	1	0	0								
10	安藤 勇人	18	1	6	3	4								
11	園田 大祐	0	0	0	0	3								
12	西條 幸雄													
13	水谷 尚登													
14	小川 健太郎													
15	森 智也													
16														
17														
18														
Team/Coach: 水谷幸司														
合計		75	7	24	6	19	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 飛龍 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4 *	種市 幸祐	40	0	16	8	2								
5 *	大石 慎之介	8	0	4	0	3								
6	青木 竜	6	0	3	0	2								
7	山口 康裕	0	0	0	0	0								
8	佐藤 建人	0	0	0	0	0								
9	杉本 瞬													
10 *	李 鑫	14	0	7	0	3								
11 *	千田 勇人	18	4	2	2	0								
12	上杉 尚輝	3	1	0	0	2								
13 *	金田 大輝	5	0	2	1	2								
14	杉山 直也	2	0	1	0	0								
15	坂本 健	0	0	0	0	0								
16														
17														
18														
Team/Coach: 杉村敏英														
合計		96	5	35	11	14	0	0	0	0	0	0	0	0

2分ごとの得点推移



【選評】

四日市工業 飛龍 のスタートメンバーで始まる。四工はオールコートのマンツーマンディフェンス、飛龍はハーフコートのマンツーマンディフェンス。四工はミドルシュートが決まらず苦しい立ち上がりに対し、飛龍は の1対1で得点を重ね、第1Qを22 - 23で飛龍のリード。第2Qに入り、飛龍はハイポスト、 のローポストのプレーを起点に攻める。第2Q残り2分に四工 が3個目のファウルでベンチに下がると飛龍はゴール下を攻め29 - 45と6点飛龍リードで前半を終了。第3Q四工は の3P、 の連続3Pで5分に逆転するが、飛龍も を中心に得点をあげ一進一退の攻防が続く。飛龍 のバスケットカウントで再びリードを広げ、四工 は4個目のファウルでベンチへ。第3Qが終わり60 - 64飛龍の4点リードで第4Qへ。残り6分で飛龍12点リード、四工タイムアウトをとるが、飛龍は の1退を軸に得点を重ねリードを広げ、75 - 96で飛龍の勝利となる。

主審 井上友幸

副審 松野瑞穂

記入者 寺崎彰記

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子準決勝

試合日: 2005年6月19日(日)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 2B
 開始時間: 11:10 ~

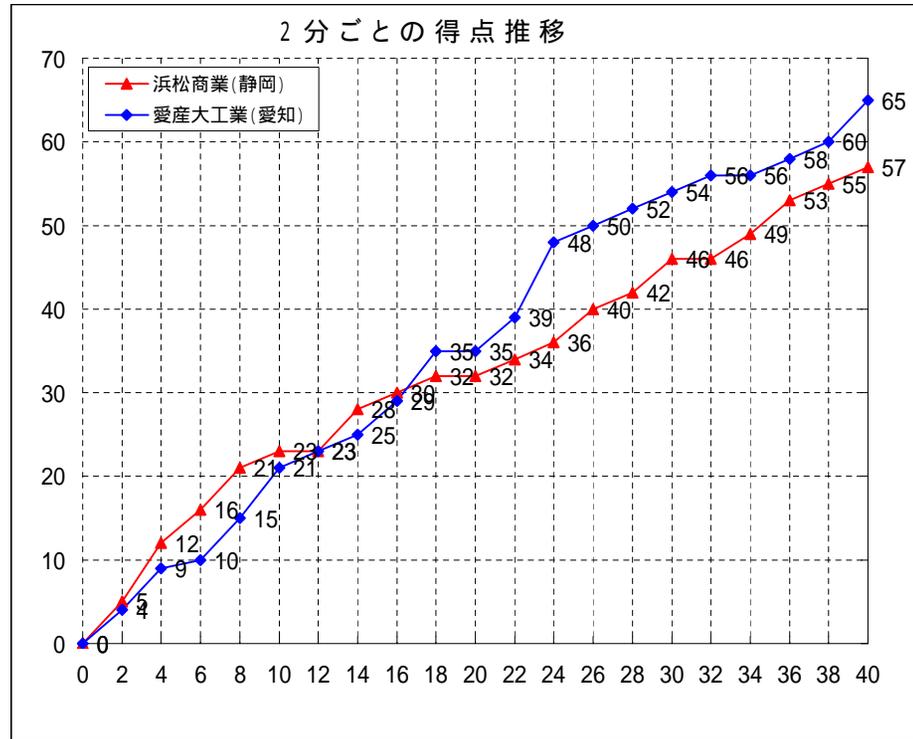
Team A		Team B
浜松商業 (静岡)	57	愛産大工業 (愛知)
	23 - 21	
	9 - 14	
	14 - 19	
	11 - 11	
	-	

Team A: 浜松商業 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 山口 敬也	7	1	2	0	5								
5	* 水口 彰	14	0	7	0	4								
6	* 小久江利恭	16	0	7	2	5								
7	* 小野田大祐	2	0	1	0	5								
8	* 坂下祥久	8	2	1	0	1								
9	高田 一哉	2	0	1	0	0								
10	松本和也	6	0	3	0	3								
11	八木田健吾	2	0	1	0	2								
12	西山雅貴	0	0	0	0	1								
13	加藤 愛二郎	0	0	0	0	0								
14	三井淳介	0	0	0	0	0								
15	榊原宏祐	0	0	0	0	0								
16														
17														
18														
Team/Coach: 加藤 佳充														
合計		57	3	23	2	26	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 愛産大工業 (愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 松下優介	5	0	1	3	1								
5	* 嶋田基志	27	0	11	5	0								
6	* 三田村裕太	6	2	0	0	0								
7	* 伊藤親人	6	1	0	3	0								
8	* 飯沼洋一郎	16	0	6	4	2								
9	宮本一彦	0	0	0	0	0								
10	奥村祥太	0	0	0	0	0								
11	伊藤聖也	5	0	2	1	1								
12	藤田広樹	0	0	0	0	0								
13	清水 優	0	0	0	0	0								
14	田中大輝	0	0	0	0	0								
15	石野雄一郎	0	0	0	0	0								
16														
17														
18														
Team/Coach: 寄田 和生														
合計		65	3	20	16	4	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

浜松商業、愛産大工業も の5人でスタート。愛産が190cmを超える2人のセンターに対し、180cm台の浜商がどのように対抗するかが焦点となるゲームである。1Q 愛産は の高さを生かした攻撃で、浜商は機動力とスクリーンを活かし を起点にともて得点を重ねる。浜商は激しいハーフマンツーマンで身長差をカバーしようとするもののファウルがかさみ2Q5分からは3-2ゾーンをひく。愛産もフリースローが入らず得点が伸び悩む。愛産も3-2ゾーンをひき、浜商の攻撃ペースを抑え互いにロースコアのゲーム展開となり、32-35と愛産リードで前半終了。

3Qになり、浜商は再びマンツーマンに愛産はゾーンで対抗する。浜商は の4回目のファウルで交代したところで11点差をつけられるが、タイムアウト後ディフェンスをオールコート2-2-1に変え粘りを見せる。

4Qも一進一退の攻防が続くが徐々に浜商が差を縮め残り3分には55-58と3点差まで詰め寄る。しかし、愛産も がリバウンドを頑張り浜商は がファウルアウト。浜商の懸命なプレイも及ばず、愛産が決勝進出を決めた。

主審 関 博樹

副審 大江 裕之

記入者 栗本 圭子

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子決勝

試合日：2005年6月19日(日)
会場：四日市中央緑地体育館
コート：3A
開始時間：12:50~

Team A		Team B
岐阜女子 (岐阜)	61	66 桜花学園 (愛知)
11 - 15		
10 - 13		
10 - 17		
30 - 21		
-		

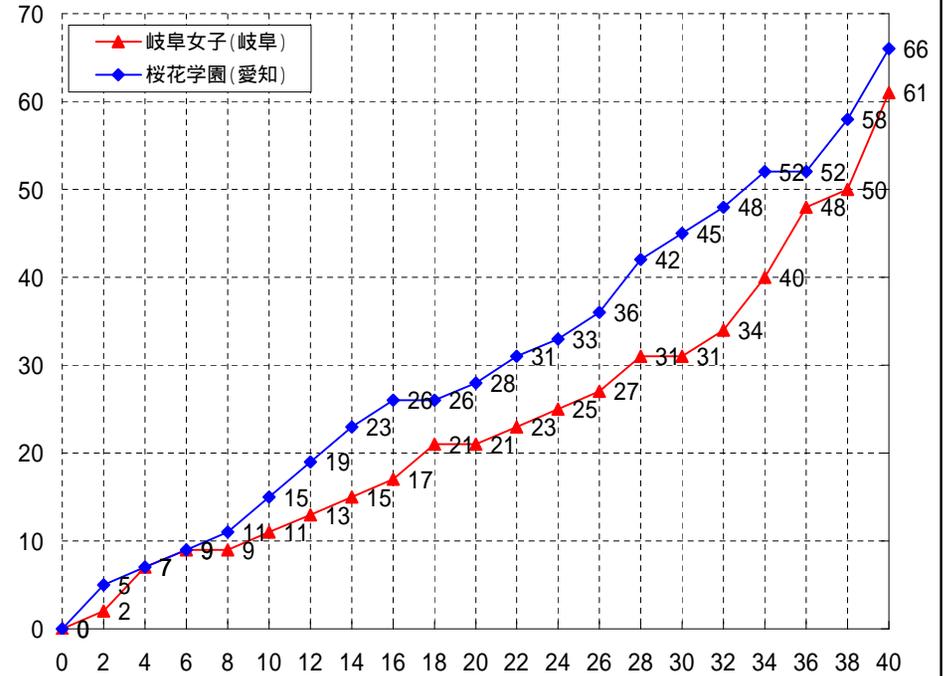
Team A: 岐阜女子 (岐阜)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 服部 里奈	14	0	6	2	3								
5	吉田 育恵													
6	大蔵 さゆり	0	0	0	0	1								
7	* 王 岑 静	6	0	3	0	5								
8	* 富崎 里奈	8	0	4	0	3								
9	* 安井 未帆	14	2	2	4	4								
10	* 小野 奈津美	12	0	5	2	3								
11	田中 優理	7	0	2	3	1								
12	知屋城 未央													
13	立花 咲													
14	伊藤 恭子													
15	水谷 佳代													
16														
17														
18														
Team/Coach: 安江 満夫														
合計		61	2	22	11	20	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 桜花学園 (愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 松島有梨江	7	1	1	2	3								
5	寺廻 唯													
6	安井 彩	5	0	1	3	1								
7	* 織田智恵里	6	0	3	0	3								
8	* 中川 聡 乃	17	0	8	1	3								
9	牛田 悠理													
10	* 増野 彩香	20	1	6	5	3								
11	後藤 彩													
12	佐藤 詩織	0	0	0	0	0								
13	和田 静香	4	0	1	2	0								
14	堀川 夏海	0	0	0	0	0								
15	* 服部 直子	7	0	3	1	2								
16														
17														
18														
Team/Coach: 井上 眞一														
合計		66	2	23	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0

2分ごとの得点推移



【選評】

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。桜花はのアシストからのゴール下の得点との1対1でチームに勢いを与える。対する岐女はのゴール下やのフックシュート、アウトサイド陣のドライブインと一進一退となり1Qは11-15と桜花リード。2Qも両チームともシュートまで持って行くが、決めることができず、前半は21-28と桜花リードながらロースコアのゲームとなる。

3Q、出だし桜花が速攻からリズムよく攻める。岐女はが4つめのファールで交代したことを契機に1-3-1ゾーン仕掛け反撃にしようとするが、桜花はが冷静にゲームコントロールし、差が縮まらない。

4Q開始早々岐女はがファールアウト。ここから両チームの展開が速くなり、一時桜花のリードが広がるが、岐女が再び1-3-1のゾーンにすると桜花の勢いが止まり、4点差まで詰め寄るが、ここから桜花が勝負強さを見せ連続得点をいれる。岐女はオールコートの2-2-1を試み必死に反撃を試みるが、桜花もを投入、確実にゲームコントロールし61-66で接戦をものにした。

主審 山本 登

副審 小塩 達夫

記入者 矢島 ちよ子

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

女子3位決定戦

試合日: 2005年6月19日(日)
 会場: 四日市中央緑地体育館
 コート: 3B
 開始時間: 12:50 ~

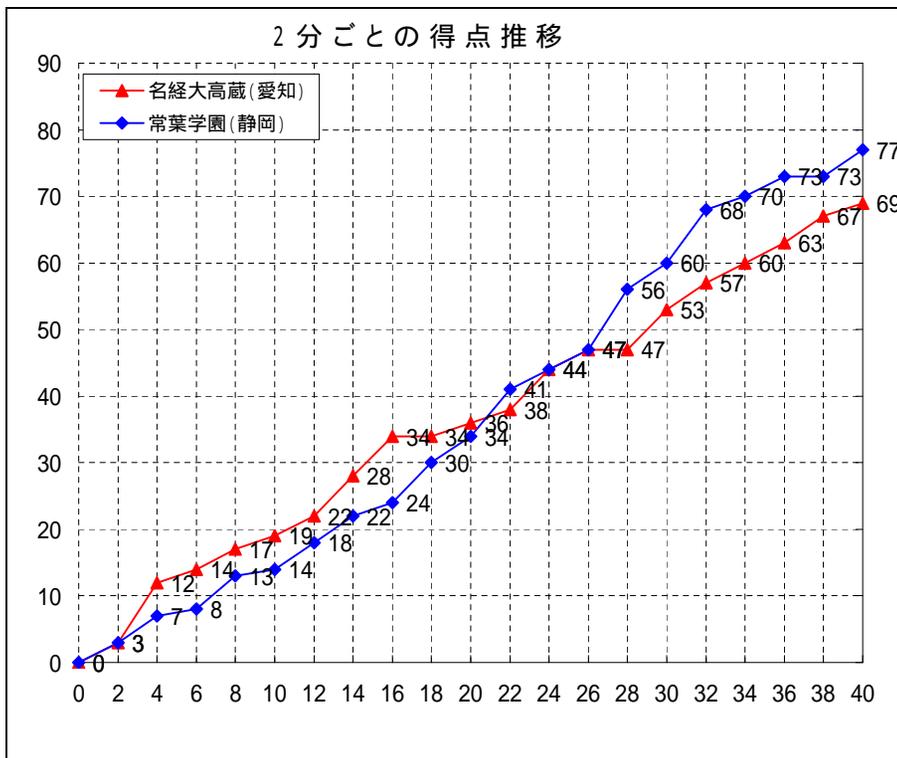
Team A		Team B
名経大高蔵 (愛知)	69	77
	19 - 14	
	17 - 20	
	17 - 26	
	16 - 17	
	-	
		常葉学園 (静岡)

Team A: 名経大高蔵 (愛知)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	平塚 郁美	0	0	0	0	0								
5	* 伊藤 麻弥	6	1	1	1	2								
6	* 岡田 麻央	9	0	4	1	2								
7	* 杉浦 文香	34	4	9	4	4								
8	* 杉浦 恵美	8	0	4	0	5								
9	* 櫻井 あゆ美	4	0	2	0	5								
10	竹本 早織													
11	寺崎 早央里	2	0	1	0	2								
12	市村 侑貴													
13	山内 ナツキ													
14	中澤 好映													
15	村松 あかり	6	2	0	0	0								
16														
17														
18														
Team/Coach: 重田恒文														
合計		69	7	21	6	20	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 常葉学園 (静岡)

S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
							OR	DR	TOT					
4	* 杉山 保奈美	22	0	9	4	2								
5	* 楠 京子	8	0	3	2	3								
6	* 田中 真樹	8	1	2	1	0								
7	* 王 リリ	15	0	7	1	1								
8	* 川崎 若奈	13	1	3	4	5								
9	大内 知世	11	0	4	3	2								
10	土屋 仁美													
11	赤池 由吏													
12	山口 美穂子													
13	杉村 佳奈子													
14	野澤 千鶴													
15	小池 ひかる													
16														
17														
18														
Team/Coach: 小前宏史														
合計		77	2	28	15	13	0	0	0	0	0	0	0	0



【戦評】

高蔵 常葉 ディフェンスは前者オールコートマンツーマン、後者はハーフコートマンツーマン、ともに速攻を展開するもターンオーバーが多く、互いに点差をつかれない状態で始まる途中、高蔵は杉浦が3Pにドライブにと活躍し、加点し始める。一方、常葉はベースライン側をドライブで攻め、高蔵から数多くファウルからフリースローをもらいながらも思うように入らない。1Q終盤速さで追い上げようとする常葉だが、5点差をつけ19-14で1Q終了。2Q:高蔵は岡田がドライブで次々と点を奪い、常葉は大内のシュートで何とかくい下がろうとする。残り3分34-26で常葉がタイムアウトをとる。36-34と2点差にまで追い上げ前半終了。後半始まって2分、常葉田中の3Pで同点。高蔵杉浦が5ファウルで退場。一進一退を繰り返すが、先に波をつかんだのは常葉杉山がドライブにリバウンドに活躍王は高さを活かし、点を取る。一方、高蔵は村松の3Pで何とか波を取り戻したいものの相手を追い込むまでには至らなかった。

主審 本多芳隆

副審 棚橋英一

記者 伊佐山清実

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日: 2005年6月18日(土)
会場: 四日市中央緑地体育館
コート: 3B
開始時間: 16:50~

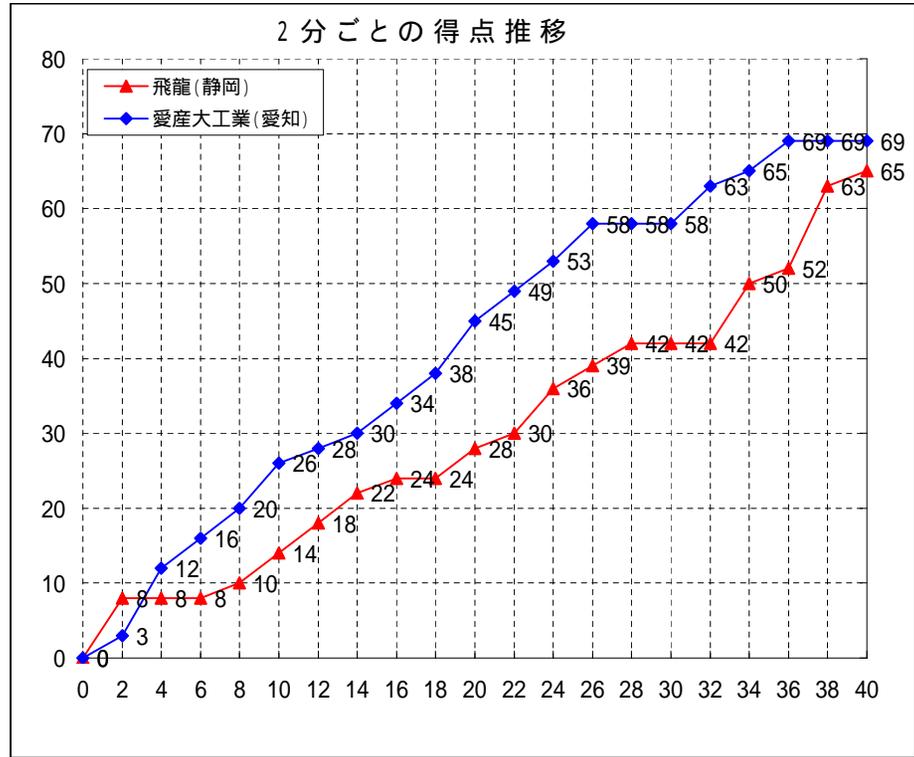
Team A		Team B	
飛龍 (静岡)	65	69	愛産大工業 (愛知)
	14 - 26		
	14 - 19		
	14 - 13		
	23 - 11		
	-		

Team A: 飛龍 (静岡)

	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	種市幸祐	11	2	2	1	2								
5	*	大石慎之介	14	1	5	1	0								
6		青木竜	2	0	1	0	0								
7		山口康裕													
8		佐藤建人													
9		杉本瞬													
10	*	李 轟	6	0	2	2	2								
11		千田勇人	9	3	0	0	0								
12		上杉尚輝	2	0	1	0	0								
13	*	金田大輝	9	1	3	0	1								
14	*	杉山直也	10	0	5	0	0								
15		坂本健	2	0	1	0	0								
16															
17															
18															
Team/Coach: 杉村敏英															
合計			65	7	20	4	5	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 愛産大工業 (愛知)

	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	松下優介	15	1	6	0	0								
5	*	嶋田基志	25	0	12	1	3								
6	*	三田村裕太	2	0	1	0	0								
7	*	伊藤親人	10	2	1	2	0								
8	*	飯沼洋一郎	10	0	5	0	1								
9		宮本一彦	2	0	1	0	0								
10		奥村祥太	0	0	0	0	0								
11		伊藤聖也	5	1	1	0	0								
12		藤田広樹	0	0	0	0	0								
13		清水優													
14		田中大輝													
15		石野雄一郎	0	0	0	0	0								
16															
17															
18															
Team/Coach: 寄田和生															
合計			69	4	27	3	4	0	0	0	0	0	0	0	



【選評】

1Q 飛龍 愛産大工業 でスタート。飛龍はハーフコートマンツーマンで愛産大工業は2-1-2ゾーンで対抗。序盤、飛龍の連続3Pでリードするが、愛産大工業も焦らず3Pのインサイドプレイで加点し、すぐに逆転し、残り5分8-12となったところで飛龍タイムアウト。タイムアウト後も愛産大工業ペースのまま終了。2Q、愛産大工業は飛龍に対し、BOX1を仕掛ける。なかなかリズムをつかめない飛龍はミスが続く中、の3ファウルでベンチに下がり、苦しい展開となる。一方、愛産大工業はのインサイドやの1対1から得点し、徐々にリードを広げ、28-45で前半終了。3Q、両チーム共にディフェンスは変わらずスタート。飛龍はのBOX1をうまく攻略できないが、速攻で得点につなげる。愛産大工業は高さを活かした攻防でリズムを崩さない。4Q、愛産大工業のの3Pインサイドで突き放しにかかるとうするが、途中、飛龍がチームメイトに声を掛け、盛り立てその後、の連続3Pで食い下がる。残り、2分飛龍がFTをもらい確実に2本決め、の3Pで63-69と点差が縮まると一層ディフェンスプレッシャーを強め、愛産大工業のミスを誘う。残り1分飛龍はタイムアウトを取り、勢いづける。その後、飛龍カットインで65-69としたところで、愛産大工業はたまたま、タイムアウト。最後まで飛龍のあきらめない姿があったが、結局、前半の点差が響き、愛産大工業が逃げ切り、優勝を手中に収めた。

主審	池端芳巳	副審	守谷圭介	記入者	伊室由美子
----	------	----	------	-----	-------

第52回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子3位決定戦

試合日:2005年6月19日(日)
会場:四日市中央緑地体育館
コート:4B
開始時間:14:30~

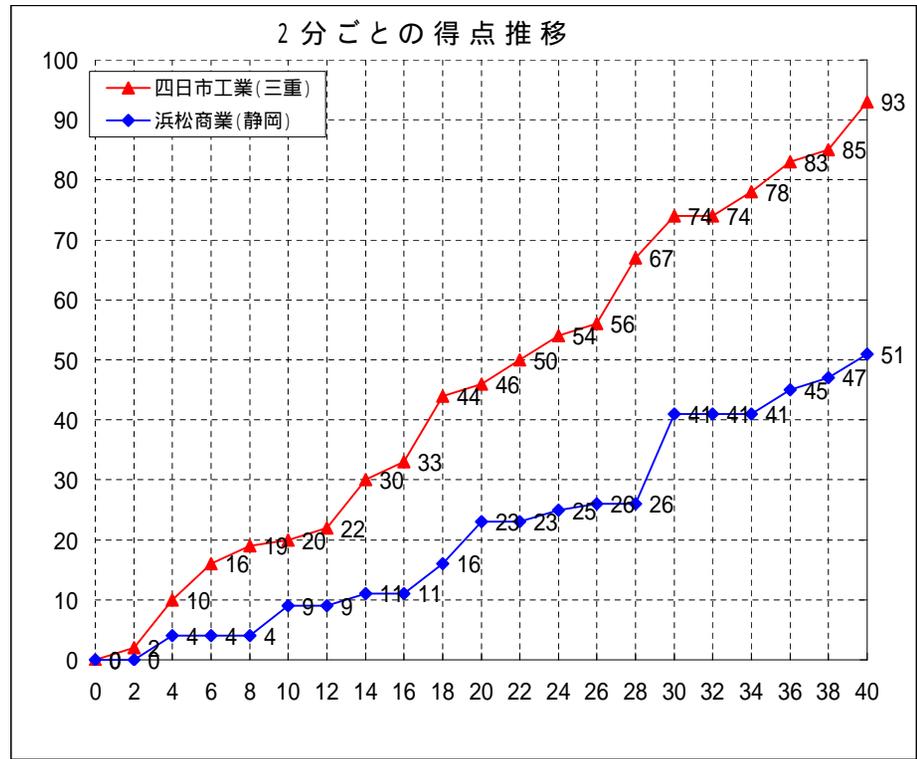
Team A		Team B
四日市工業 (三重)	93	51 浜松商業 (静岡)
20 - 9		
26 - 14		
26 - 11		
21 - 17		
-		

Team A: 四日市工業(三重)

	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	杉山卓也	6	0	3	0	0								
5	*	二井亮太郎	15	1	6	0	0								
6	*	森島聡	7	1	2	0	1								
7		永見隆典	0												
8		児玉晴太	9	0	3	3	1								
9	*	河合浩輝	4	0	2	0	1								
10		安藤勇人	19	3	4	2	1								
11		園田大祐	10	0	3	4	1								
12		西條幸雄	2	0	1	0	1								
13	*	水谷尚登	12	0	6	0	3								
14		小川健太郎	0	0	0	0	2								
15		森智也	9	3	0	0	0								
16															
17															
18															
Team/Coach:水谷幸司															
合計			93	8	30	9	11	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 浜松商業(静岡)

	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	山口敬也	2	0	1	0	1								
5	*	水口彰	0	0	0	0	3								
6	*	小久江利恭	4	0	0	4	4								
7	*	小野田大祐	3	0	1	1	2								
8	*	坂下祥久	10	2	2	0	2								
9		高田一哉	2	0	1	0	1								
10		松本和也	6	0	3	0	3								
11		八木田健吾	13	3	2	0	1								
12		西山雅貴	11	1	4	0	3								
13		加藤愛二郎	0												
14		三井淳介	0												
15		榊原宏祐	0	0	0	0	0								
16															
17															
18															
Team/Coach:加藤佳充															
合計			51	6	14	5	20	0	0	0	0	0	0	0	0



【選評】

四工 浜商 両チームともハーフコートマンツーマンディフェンス。1Q開始早々、四工の素早いパスワークからミドルシュート、速攻と得点を重ね、残分5、10-2として浜商はタイムアウトを取る。タイムアウトが後も四工のカットングプレイにファウルが重なる。2Q、リバウンドが取れず、リズムの掴めない浜商はオールコート2-2-1から3-2ゾーンへとディフェンスを切り換え、また、メンバー交代で対抗するが、四工のシュートは止まらない。残分1、オールコートマンツーマンで激しく当たり、巻き返しにかかったところで前半終了。3Q、後半浜商は速い展開のオフェンスから果敢にシュートを狙いに行くが、ことごとくゴールに嫌われる。両チームともターンオーバー、イージーシュートミスが続く苦しいクォーターとなる。足の止まり出した浜商に対し、四工は相手のミスから速攻を出し、得点を重ねる。4Q、最終クォーター、浜商はリバウンド、ルーズボールに喰らいつき粘りを見せるが、ターンオーバーが続く。最後まで走り勝ち、シュート力で上回った四工が勝利を収めた。

主審 増井泰督

副審 岡留優介

記入者 加藤友理